佐野市景況レポート

平成29年1～3月期

佐 野 商 工 会 議 所
〒327-0027　佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511　FAX 0283 (22) 5517
HP　http://www.sanocci.or.jp
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告
（平成２９年１～３月期）

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業２９０社を対象に調査し、１９３社（回答率６６．５５％）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《　概　況　》

業況は改善するも労働力確保が課題

小規模企業は、業容・待遇等の表面的な求人情報を提示しただけでは人材確保が困難です。これは、企業規模・売上高等の業容や給与・休暇等の社員待遇において大・中企業に劣るためです。むしろ、小規模企業には「働きがい」「働き方」「人に対する考え」といった感情・思いなどの内面的な求人情報を提示した採用活動を勧めます。

厚生労働省平成 26 年「働きやすい・働きがいのある職場づくりに関する調査」により、「働きがい」と、従業員の定着、会社の業績が良好であることの関係が強いことが示されました。「働きがい」は会社の規模・設備・資金に関係なく、経営者次第で提供できます。人が会社で「働きがい」を感じる要素は、①ビジョン、②自身の成長、③仲間です。①当社の向かっている方向性を明示することにより、ビジョンにフィットした社員が集まります。②仕事を通じて自身の成長が感じられることです。③仲間は社内人間関係の良さです。人材確保と業績向上に、「働きがい」ある職場づくりをお勧めします。

佐野市景況レポート（平成 29 年 1～3 月期実績）をみると、全業種業況 DI 指数は▲14.2、前期（12 月期）比+2.8 ポイントと業況改善が３期（H28/7～H29/3）連続しました。利益 DI 指数▲23.6（前期比+3.6）、売上高 DI 指数▲15.2（前期比+4.2）、販売価格 DI 指数▲2.0（前期比+1.4）と、業況と同様に 3 期連続改善しました。また、全業種設備稼働 DI 指数は▲2.4（前期比+0.8）と比較的高い水準であることから、良くないながらも業況は改善していると言えます。一方、労働力全業種 DI 指数は▲20.8（前期比▲1.5）と、この 10 年間で最も労働力が不足している数値となりました。

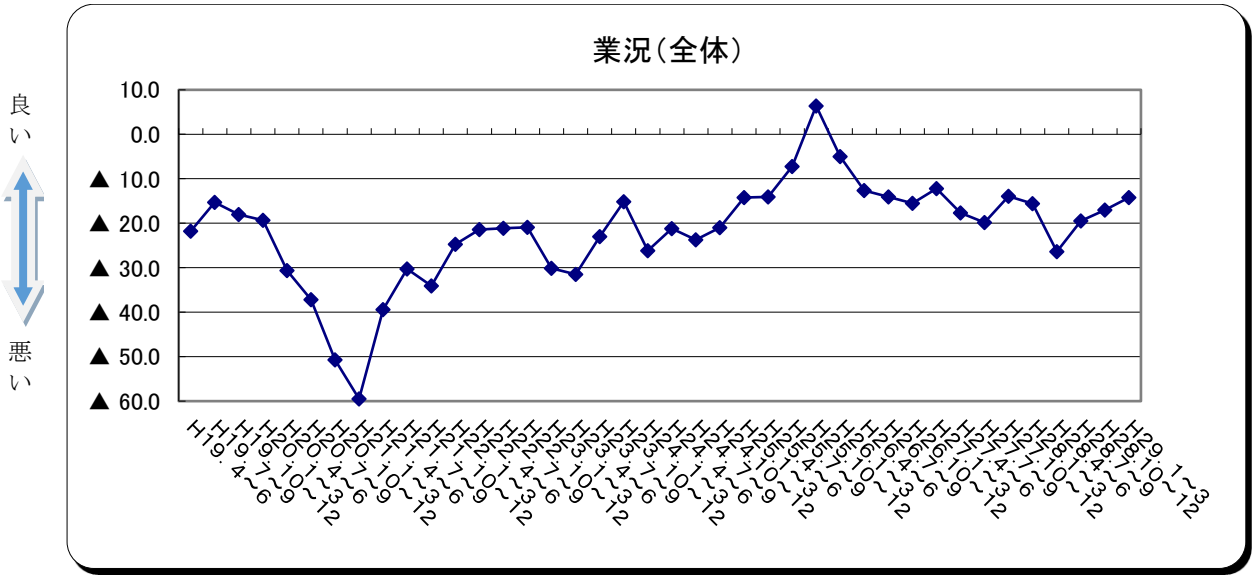
今後 3 ヶ月間（平成 29 年 4～6 月見通し）をみると、全業種業況 DI 指数は▲15.0（前期比▲3.7）と、今後 3 か月間の業況悪化を予想しています。予想売上高 DI 指数は▲15.2（前期比▲6.5）、予想仕入価格 DI 指数は 17.3（前期比+3.4）、販売価格 DI 指数は▲4.1（前期比▲0.2）です。平成 29 年 4～6 月期の見通しは、売上高減少と仕入価格上昇等による業況の悪化を予想しています。

事業所の景況コメントには、「人手不足」「仕入価格・原材料の上昇」「地方の景気低迷」「トランプ大統領による経済環境の変化」「先行き不透明感」等のキーワードが挙げられており、前期同様に不透明感が拭えません。

調査協力：ＯＫコンサルティング　代表　岡野　清（中小企業診断士）

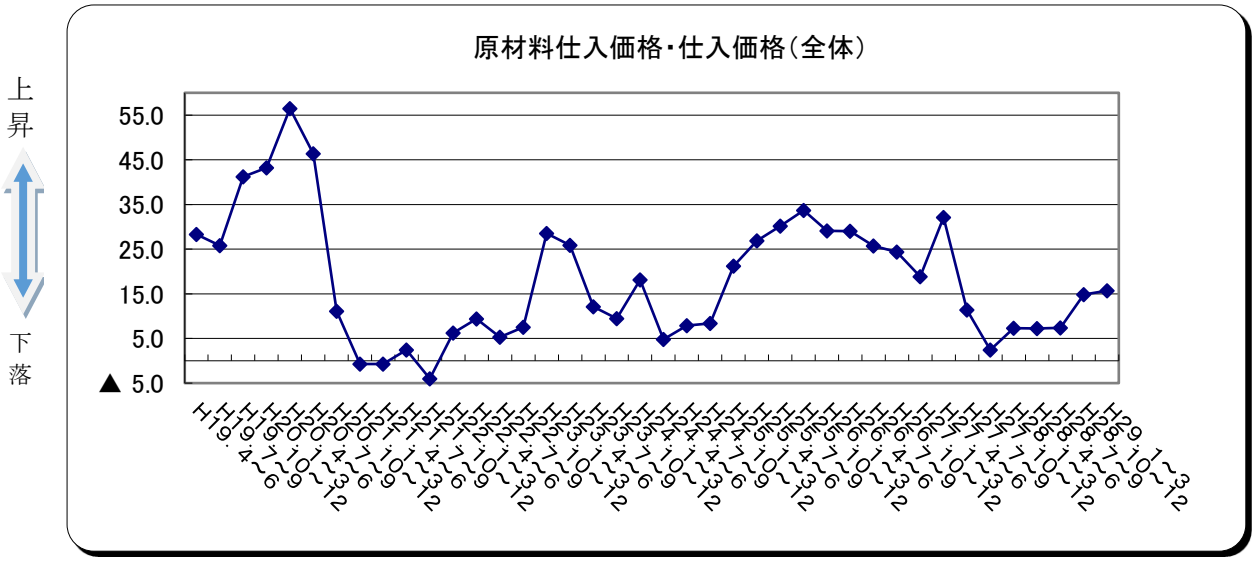
☆　業況について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲14.2、前期比 2.8 ポイント改善
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業及び設備業 0.0 ポイント、③食品製造業▲5.3 ポイント、④機械・金属製造業▲7.7 ポイント、⑤卸売業▲9.1 ポイント



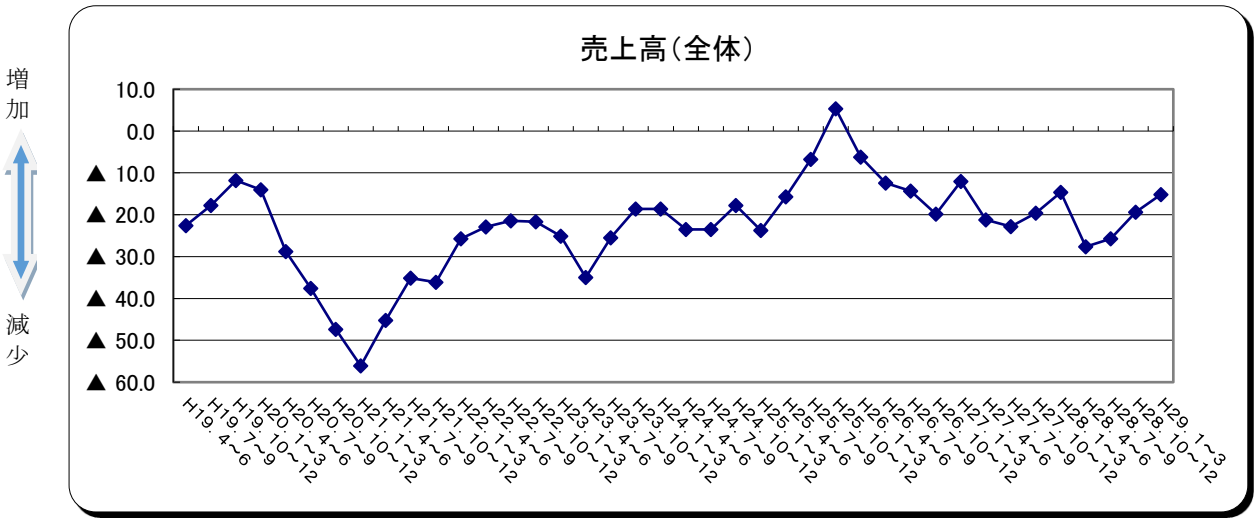
☆　原材料仕入価格・仕入価格について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数 15.7、前期比 0.9 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業及び機械・金属製造業 42.9 ポイント、③繊維品製造業 24.3 ポイント、④飲食店 22.0 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）13.8 ポイント



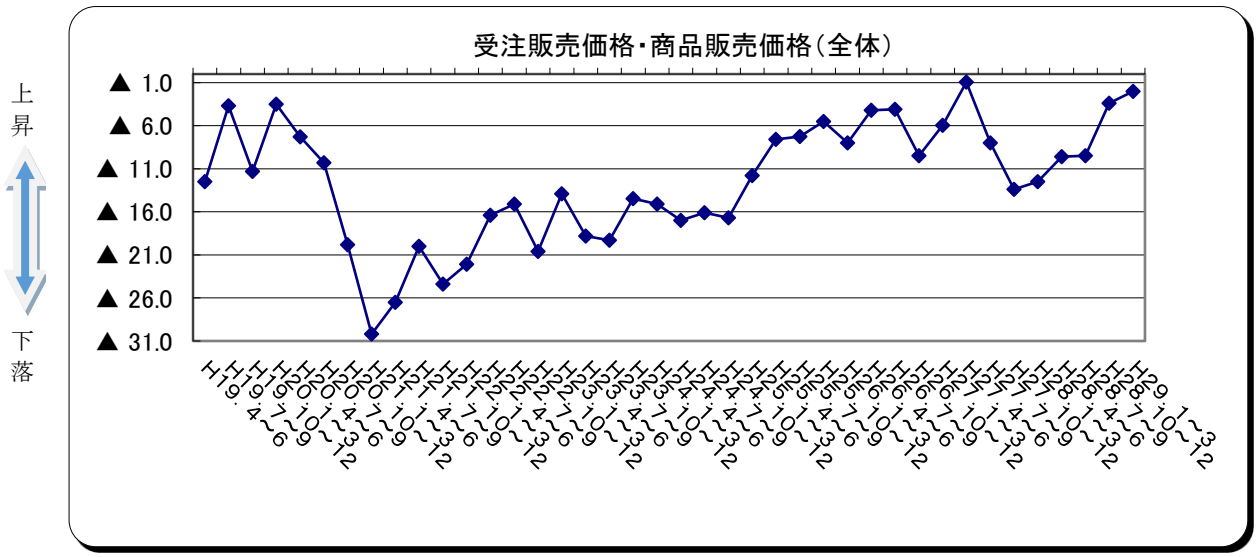
☆　売上高について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲15.2、前期比 4.2 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①設備業 22.0 ポイント、②建設業 10.3 ポイント、③卸売業 9.7 ポイント、④その他の小売業（大型店含む）▲5.1 ポイント、⑤飲食店▲7.3 ポイント



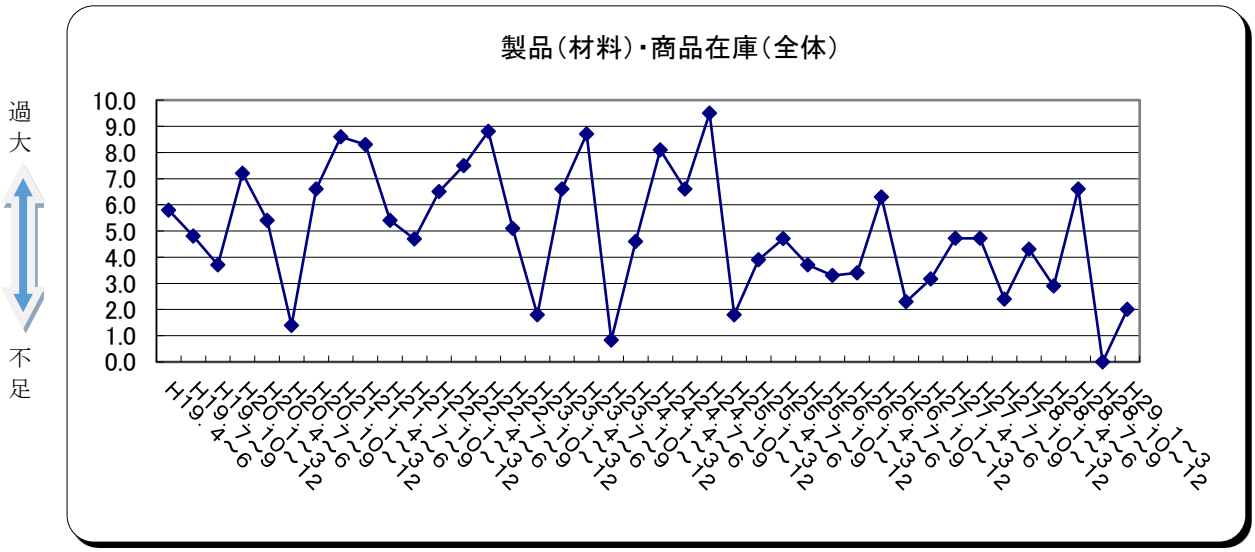
☆　受注販売価格・商品販売価格について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲2.0、前期比 1.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業 20.0 ポイント、②その他の小売業（大型店を含む）4.6 ポイント、③設備業及び食品製造業、その他の製造業、卸売業、小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0 ポイント



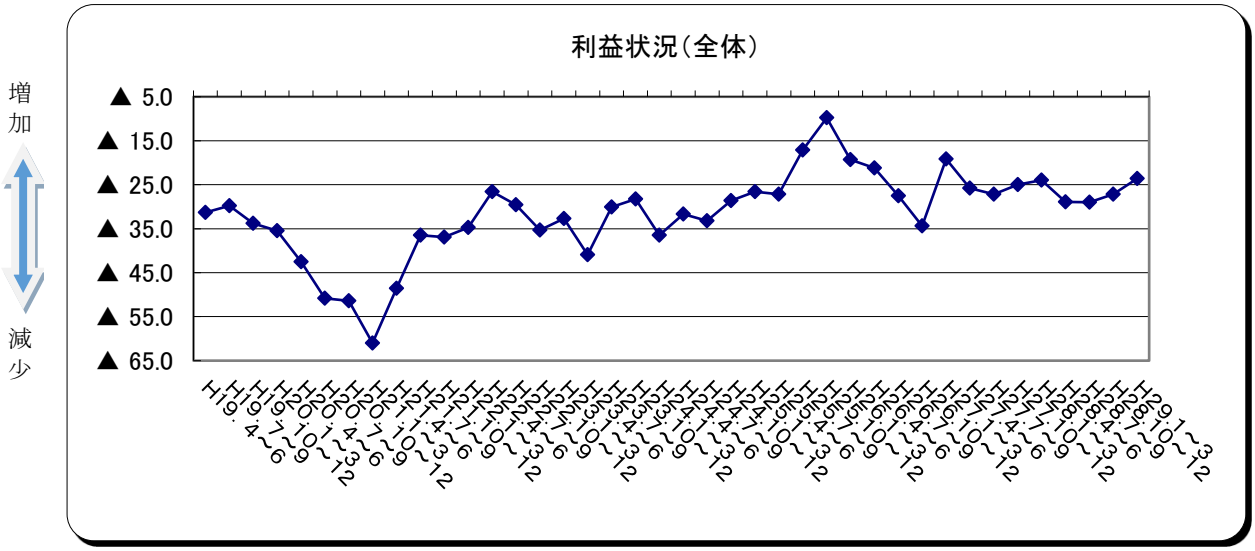
☆　製品（材料）在庫・商品在庫について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数 2.0、前期比 2.0 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 27.3 ポイント、②機械・金属製造業 14.3 ポイント、③小売業（飲・食料品）11.1 ポイント、④繊維品製造業 7.7 ポイント、⑤飲食店 7.0 ポイント



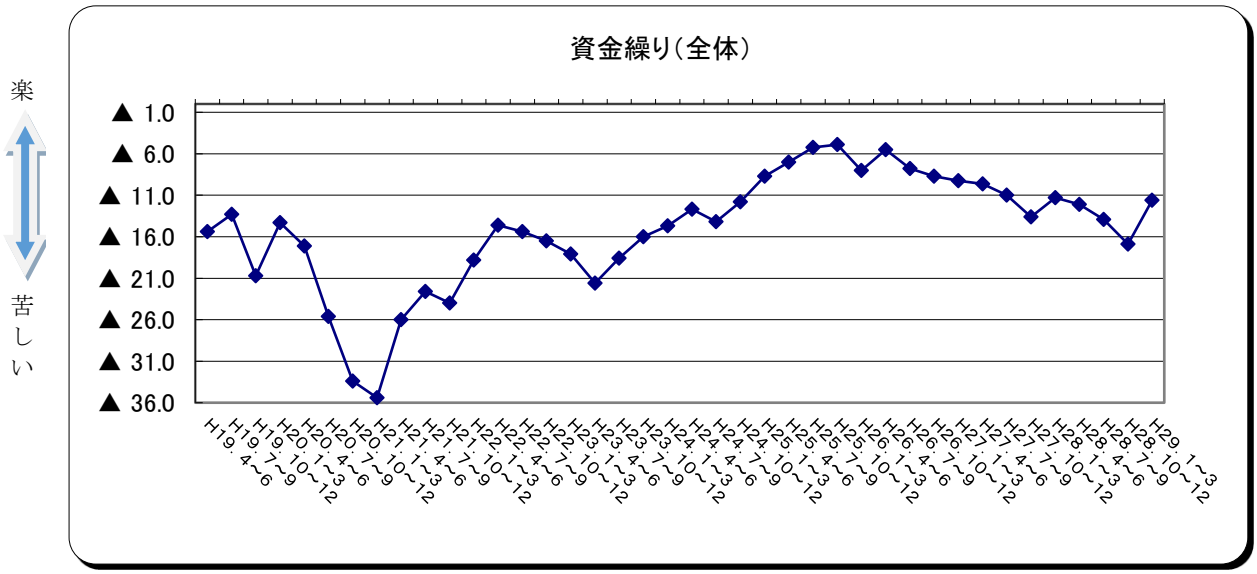
☆　利益状況について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲23.6、前期比 3.6 ポイント改善
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 0.0 ポイント、②建設業▲9.7 ポイント、③設備業▲15.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲15.4 ポイント、⑤卸売業▲18.8 ポイント



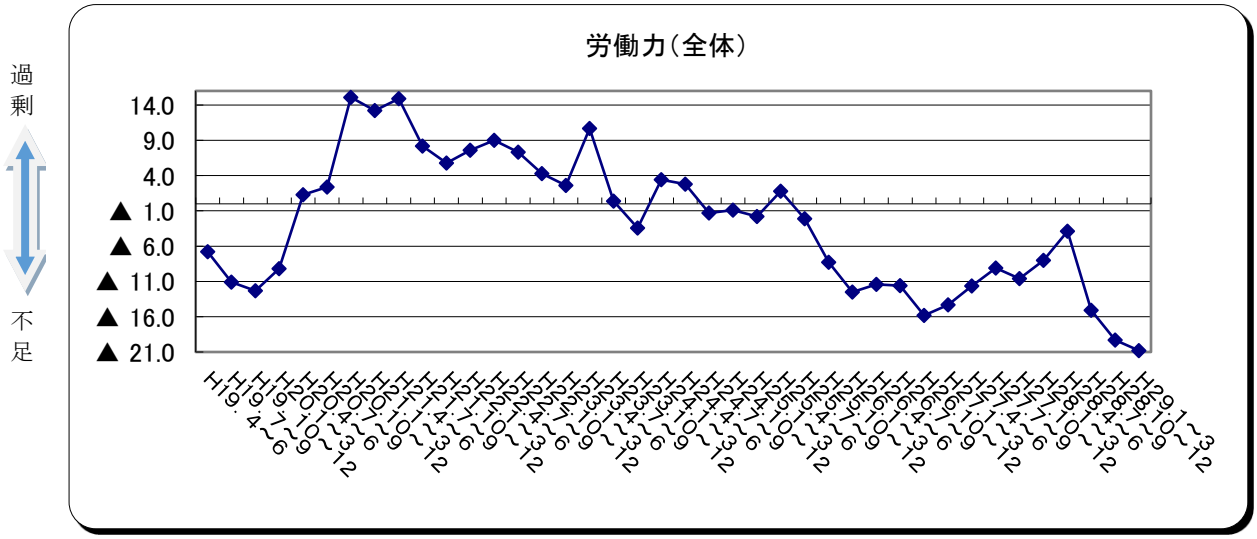
☆　資金繰りについて（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲11.6、前期比 5.3 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①その他の製造業 27.3 ポイント、②卸売業 17.6 ポイント、③設備業及び繊維品製造業 0.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲7.1 ポイント



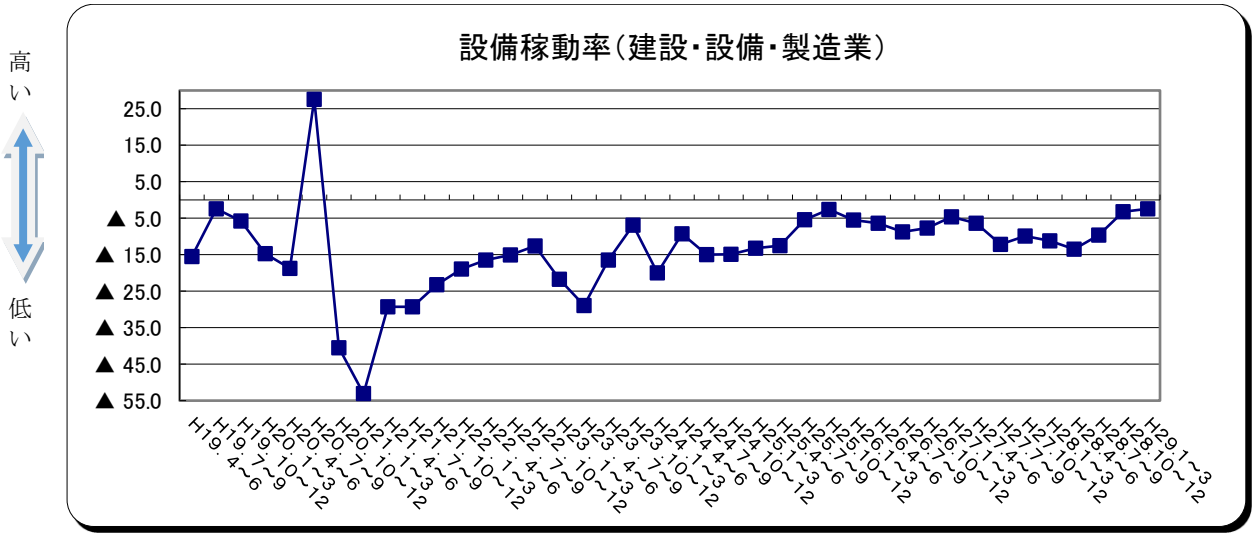
☆　労働力について（平成 29 年 1～3 月期実績）

全業種 DI 指数▲20.8、前期比 1.5 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①小売業（飲・食料品）0.0 ポイント、②繊維品製造業▲8.1 ポイント、③卸売業▲9.1 ポイント、④機械・金属製造業▲11.1 ポイント、⑤その他の製造業▲13.0 ポイント



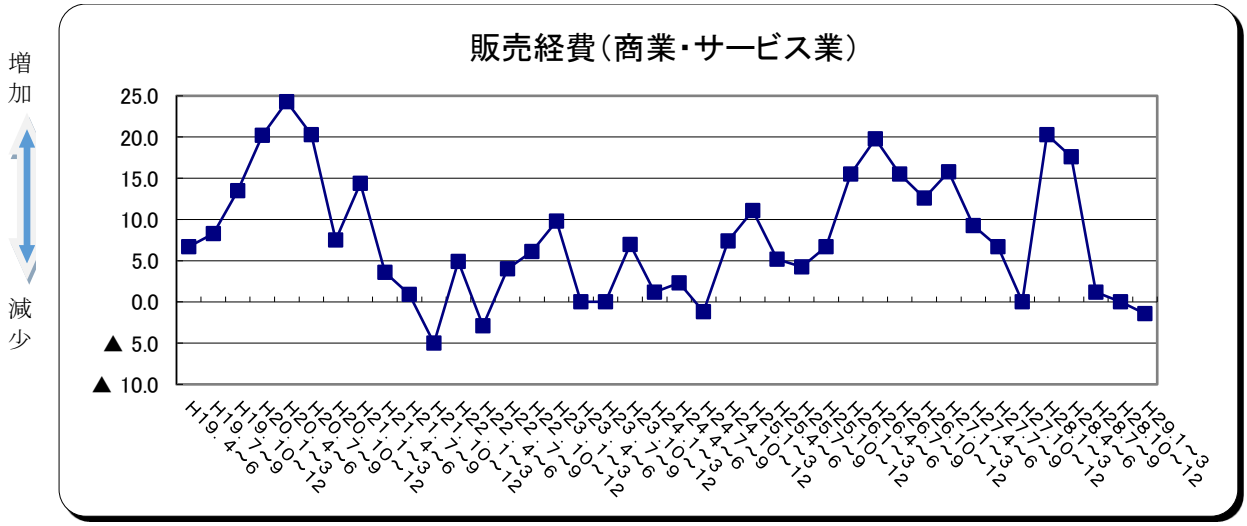
☆　設備稼動率について（平成 29 年 1～3 月期実績）（建設・設備・製造業関係）

全業種 DI 指数▲2.4、前期比 0.8 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業 20.0 ポイント、②設備業及びその他の製造業 0.0 ポイント、④化学・プラスチック製造業▲7.1 ポイント、⑤食品製造業▲10.3 ポイント



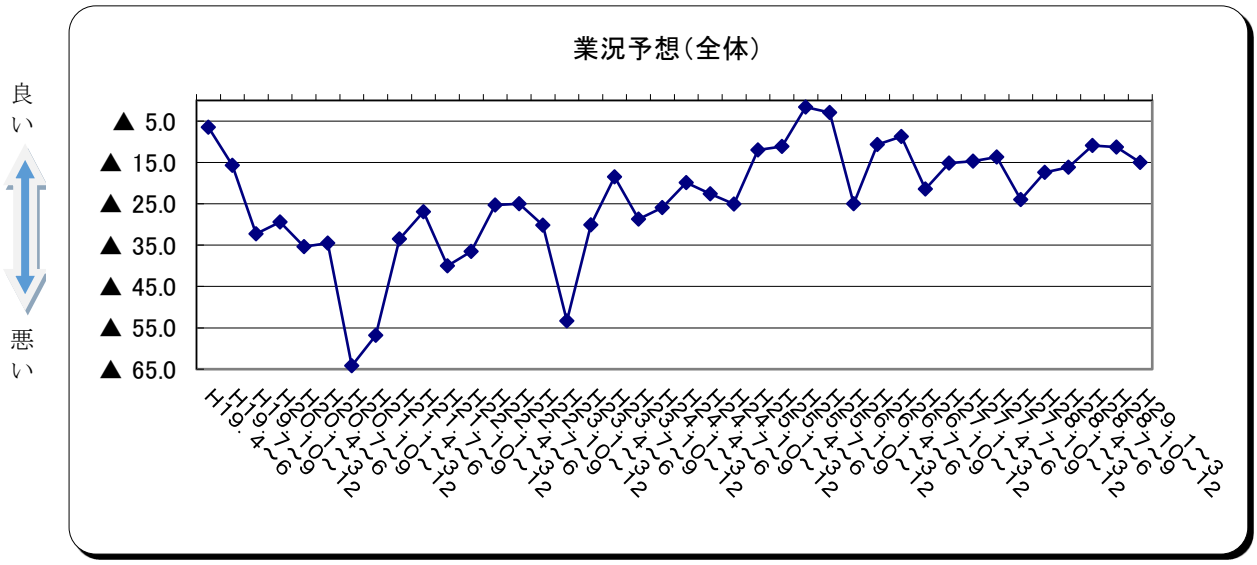
☆　販売経費について（平成 29 年 1～3 月期実績）（商業・サービス業関係）

全業種 DI 指数▲1.4、前期比 1.4 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①小売業（飲・食料品）23.1 ポイント、②卸売業 18.8 ポイント、③飲食店 0.0 ポイント、④サービス業▲5.7 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲18.8 ポイント



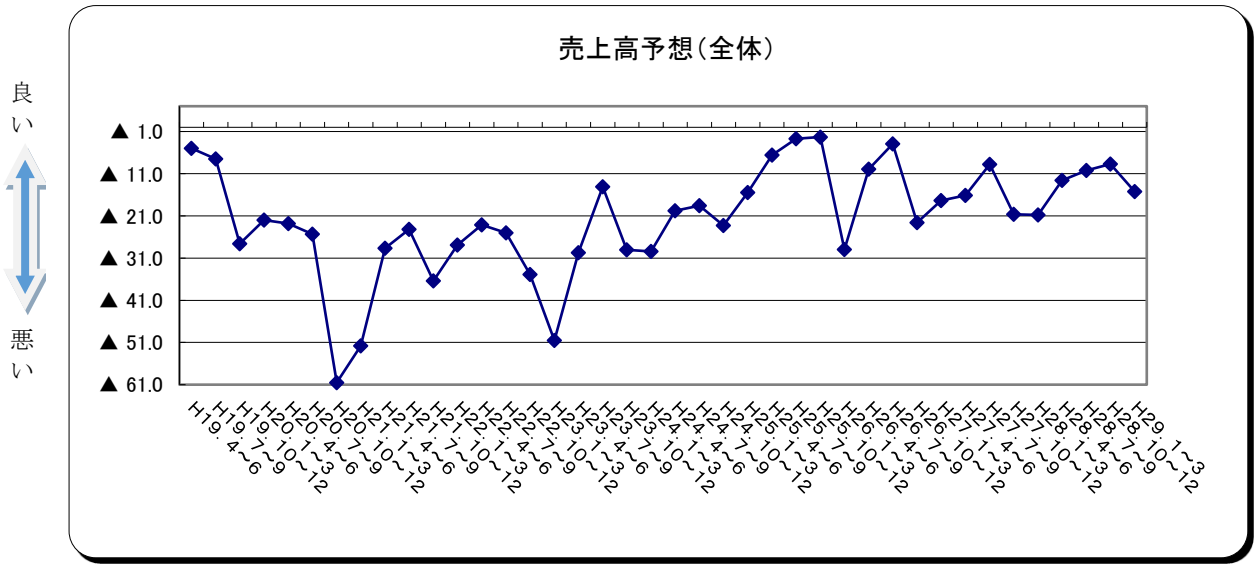
☆　今後３ヶ月先（平成 29 年 4～6 月期の見通し）の業況について

全業種 DI 指数▲15.0、前期比 3.7 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①設備業及び飲食店 0.0 ポイント、③サービス業▲5.9 ポイント、④卸売業▲8.6 ポイント、⑤食品製造業▲10.0 ポイント



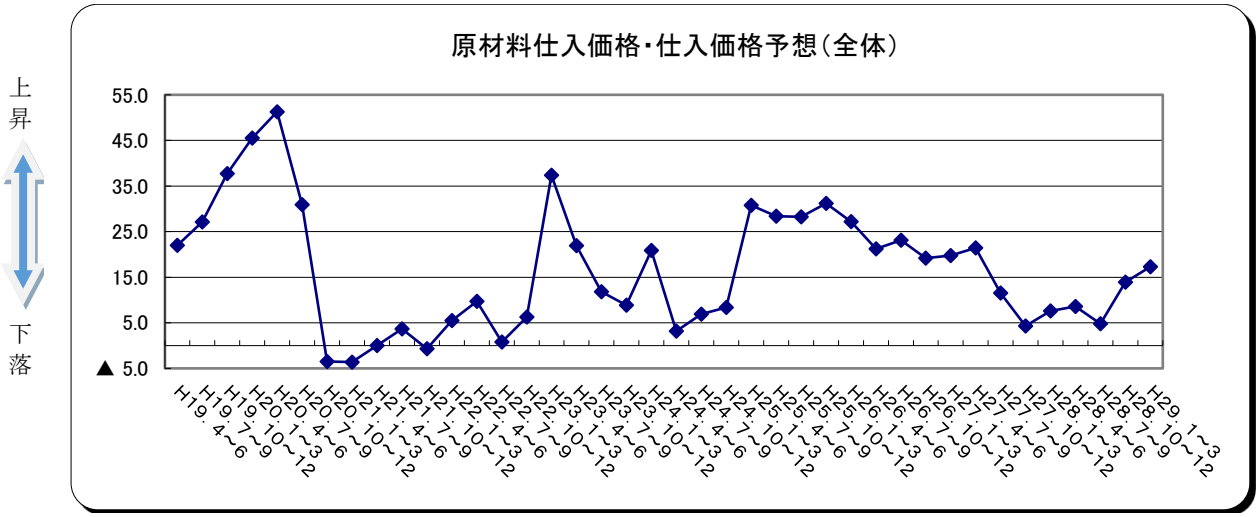
☆　今後３ヶ月先（平成 29 年 4～6 月期の見通し）の売上高について

全業種 DI 指数▲15.2、前期比 6.5 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①卸売業 9.1 ポイント、②飲食店 0.0 ポイント、③設備業▲7.3 ポイント、④建設業▲10.3 ポイント、⑤機械・金属製造業▲11.1 ポイント



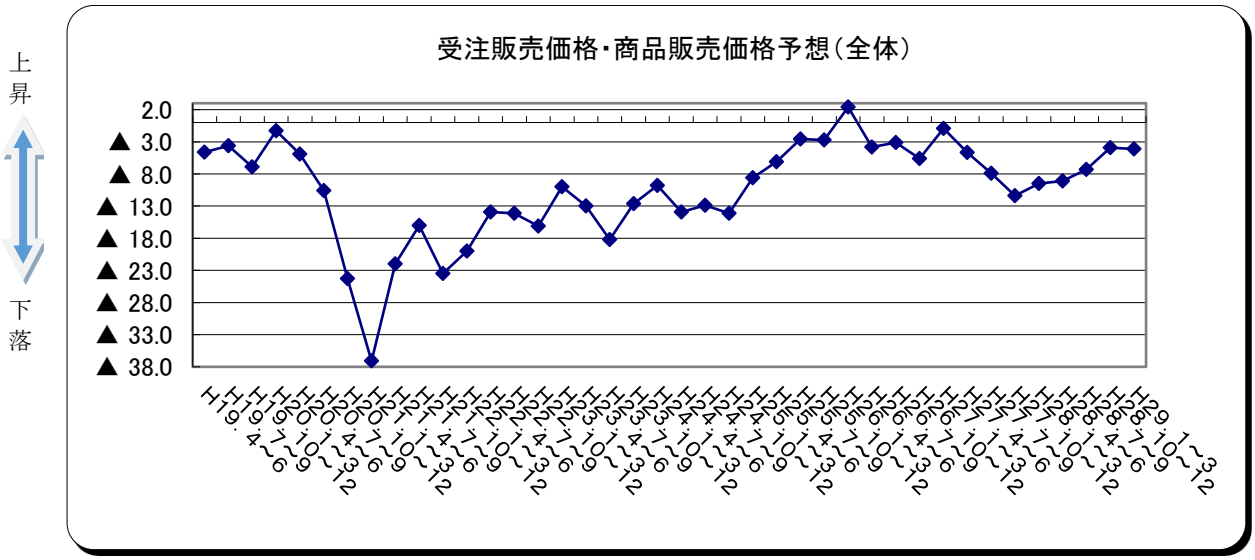
☆　今後３ヶ月先（平成 29 年 4～6 月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 17.3、前期比 3.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①機械・金属製造業 47.4 ポイント、②繊維品製造業 42.9 ポイント、③建設業 31.0 ポイント、④サービス業 23.1 ポイント、⑤卸売業 17.6 ポイント



☆　今後３ヶ月先（平成 29 年 4～6 月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数▲4.1、前期比 0.2 ポイント低下
業種別 DI 指数（上位 5 業種）
①建設業及び食品製造業、その他の製造業、飲食店 0.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲3.5 ポイント



☆　市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

・東京方面の工事は活況であるが、地方の小都市では公共工事を含め受注工事が少ない。

設備工事業

・人手不足、募集しても集まらない。

繊維品製造業

・売上高を期待していたが前年と同様であった。新製品の開発が必要と思われる。

食品製造業

・街中の活性化の為に、しっかり頑張ります。中心地ににぎわいを取り戻したいですね
・政府は大企業の意見は聞くが中小企業の視線では何も考えてない。
・大企業のベア上昇が押さえられたため、中小以下はまたベアゼロ方向かと危惧しています。
・人口が 12 万という中で、企業数が増え少ないパイを取りあっている状況である。このままでは長く佐野にいる企業が損をするばかりである。考え物では？

機械･金属製品製造業

・仕入価格の大幅な値上げで今後在庫が新価格に入れ替わり採算の悪化が懸念される。景況感も東京圏以外は悪い。今年前半は需要の回復は望めない。小零細企業の与信が心配。
・ロット数：多く　量は：少ない
・震災から 6 年目の春!!暖かくならない日々、3 月 11 日になるとテレビで被災地を報道しますが「復興」は進まずの現実にはがっかりします。2020 年のオリンピックにはギモンを感じます。早く東北の人の安定した生活を望みます。
・トランプ政権の今後の対応によっては大きな変動？が予想されるところから積極的に動けない。
・大手メーカーが 4 月より製品の値上げを発表しており、又ガソリンも値上がりしている。我々販売店がお客様に値上げをどこまで浸透させていけるか不安がある。
・停滞感があり営業に力を入れております。
・主要材料(鉄、銅)の値上がり状況で販売価格への転稼が進んでおらず今後の営業活動で改善を図りたい！
・調査もいいですが、状況を考えた打開策を提案願います。

化学･プラスチック製品製造業

・現在の仕事量は客先期末もありやや減少傾向で先の受注が無く不透明、引合いはあるが決定までに時間要。
・原油価格上昇に伴い、プラスチック原料上昇傾向懸念。

・雇用者はいません。1年前からです。
・原油高で原料値上げの動きあり。

その他製造業

・おおむね好調、新しい引き合いもあり先行きも不安ない。仕入は外材(輸入)が多いので為替の影響を受けやすい。
・先細りの感が強くオリンピック景気はどこに行ったか？地方は厳しい状態が続きそう。

卸売業

・コメントなし

小売業（飲･食料品）

・トランプ大統領の言動で経済状況も大きく変化する。その影響がプラスに又はマイナスに動くかは期待と不安で見守っています。
・1月から3月までは、去年の年末から今年の正月にかけての出業の影響が出ている。又野菜の高値が続いていて嗜好品には厳しい。
・相変わらず景気は良くありません。

その他の小売業（大型店含む）

・メーカーより商品値上げ、運賃(配達料)、諸経費(仕入先)の値上げの連絡あり、利益減の要因となる。
・1月下旬より最悪の状態が続いています。
・次回の3ヶ月は切り換え商品なので　　成ることを期待する。
・医療費総体抑制・削減政策による薬価基準引下げによる売上高減少が今後懸念される。
・ずっと低迷しておりますのであまり気にしなくなりましたが、先行き少しは不安です。従業員はやとっておりませんので家族だけでなんとか食べて行けるでしょう。
・消費者の減少につき売上も減少。

飲食店

・円安の影響大　材料費が上がっている。アルバイトが集まらない。
・1～3月期については売上、客数先は増加になりました。ありがとうございました。
・客足が悪く何とか策をうたなければと、当初来ていただいたお客様が来なくなった。連絡しても仲をうまくいかない。
・景気が良くないとはあまり感じられない。
・セットメニューが大変売れているので多少昨年よりはいいかと思いますが、やはり波がありいい日悪い日があります。
・地方の景気は旧態依然として低迷している。地方の景気が良くならないうちは日本の景気は上がらない。

サービス業

・年度末による案件増加と順調な仕入が重なり、今期は安定した営業が見込めます。
・建築の計画をしても予算が合わずに実行しない物件が多いので、景気が良いとは思わない。

佐野市景況調査　要項

1　調査時期　　平成２９年１月～３月

2　調査業種　　佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など２９０社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）２００社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）９０社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	２５社
② 設備工事業	２１社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	２２社
② 食品製造業	１８社
③ 機械・金属製品製造業	４０社
④ 化学・プラスチック製品製造業	３６社
⑤ その他の製造業	２２社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	１５社
② 小売業（飲・食料品）	２３社
③ その他の小売業（大型店含む）	２７社
④ 飲食店	１９社
⑤ サービス業	２２社

3　分析方法[景況動向指数（ＤＩ）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「０」で上限限度は、＋１００・－１００となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

ＤＩ方式は、$\dfrac{3x-3z}{3x+4y+3z}$ ×１００により算出

ｘ：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

ｙ：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

ｚ：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

4　主　　管　　佐野商工会議所

5　調査協力　　佐野市あそ商工会

6　お問合先　　佐野商工会議所経営支援課　　℡（代表）0283-22-5511

頑張る小規模事業者を応援します。

佐野商工会議所